

市バスの経営改善に取り組んでいます

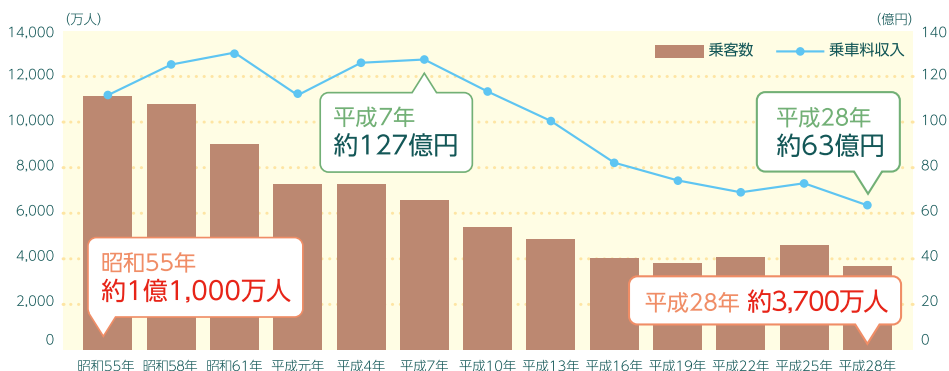
交通局は市バスを将来にわたって地域の足として維持するため、経営改善に取り組んでいます。現在の経営状況と取り組み内容をお知らせします。



市バスの経営状況

市バスの乗客数は、昭和55年度をピークとして、現在は3分の1程度まで減っています。乗車料収入もこの20年間で半分程度に減っています。平成28年度は46路線全てが赤字となりました。

乗客数と乗車料収入の推移



経営課題

市バスが 1km 走行した場合の収入と費用を、他の指定都市の公営バスと比較してみると、本市の費用は、他都市とほぼ同額です。しかし、本市は走行距離が長いわりには乗客数が少ないため、収入が大幅に少なくなっています。

※公営バスを運営しているのは、全国 20 の指定都市のうち 7 都市。

走行キロ 1km あたりの収入・費用の比較

